

こんなことができます!

グラフを用いた 描画システムの開発 のためのアドバイス



夢

高速なグラフ描画システムの
開発

共生システム理工学類

三 浦 一 之

MIURA Kazuyuki

准教授 博士 (情報科学)

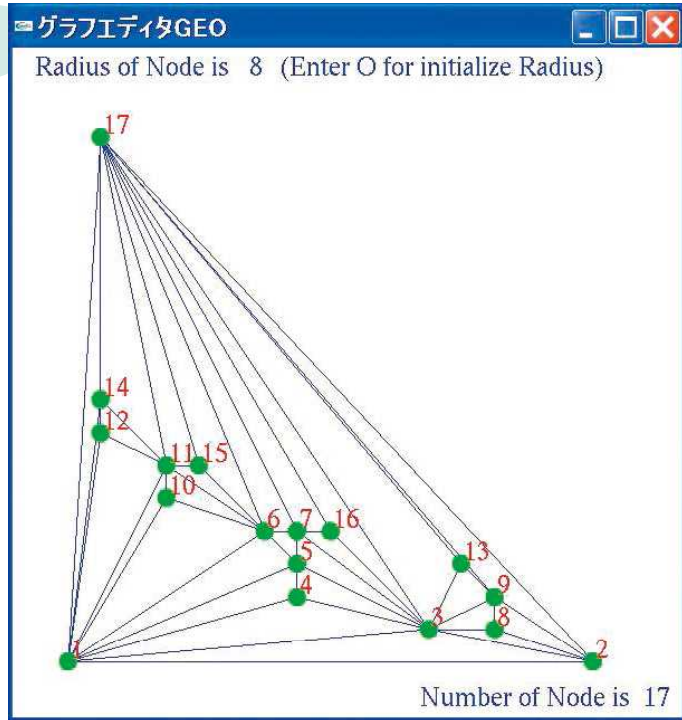
専門分野

グラフ理論、アルゴリズム論

特許情報、著書、論文

Convex Grid Drawings of
Plane Graphs with Pentagonal
Contours, 2014年。(論文)

内部3連結グラフの格子凸描画、
2012年。(論文)など



いくつかの点とそれらを結ぶ辺により構成されるものをグラフといい、様々な関係や構造を抽象的に表現するために広く使われています。与えられたグラフを、“構造が理解しやすく”かつ“きれいに”描画する問題をグラフ描画問題といい、様々な分野で極めて重要な役割を果たしています。これまでに、多数のグラフ描画アルゴリズムを開発するとともに、アルゴリズムを計算機上で高速に実行するグラフ描画システムの開発にも取り組んでいます。

想定するパートナー

地方自治体、情報システム開発関連企業など

具体的な連携、事業化のイメージ

グラフ描画システムの開発

教育
学習支援

健康
福祉

防災
都市計画

地域
産業振興

食・農

経営支援

ファイナンス

人材育成

法律

ライフ
サイエンス

情報通信

環境

ナノテク
材料

エネルギー

ものづくり
技術

社会基盤

フロンティア

